

製品名: CD36 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86846**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:53 kDa; Observed MW:70-110 kDa

抗原情報

遺伝子名	CD36
別名	FAT; GP4; GP3B; GPIV; CHDS7; PASIV; SCARB3; BDPLT10
遺伝子 ID	948
SwissProt ID	P16671
免疫原	ヒト CD36 の合成ペプチド

背景

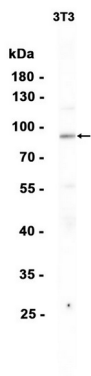
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、血小板表面の4番目の主要糖タンパク質であり、血小板および様々な細胞株におい

トロンボスポンジンの受容体として機能します。トロンボスポンジンは様々な接着プロセスに関与する広く分布するタンパク質であるため、このタンパク質は細胞接着分子として重要な機能を有する可能性があります。このタンパク質は、コラーゲン、トロンボスポンジン、陰イオン性リン脂質、および酸化 LDL に結合します。熱帯熱マラリア原虫 (*Plasmodium falciparum*) に寄生された赤血球の細胞接着を直接媒介し、長鎖脂肪酸に結合して、輸送および / または脂肪酸輸送の調節因子として機能する可能性があります。この遺伝子の変異は、血小板糖タンパク質欠乏症を引き起こします。この遺伝子には、複数の選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2014年2月]

研究分野

-

画像データ



CD36 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した 3T3 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。